



平成23年9月14日

各位

会社名 日本サード・パーティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 和昭
(JASDAQコード番号:2488)
問合せ先 取締役事業戦略室担当 佐伯 康雄
(電話 03-6408-2488)

**Scientific and Production Enterprise ATOMTEX(ベラルーシ共和国) と
内部被ばく測定機器、甲状腺被ばく測定機器、食糧品汚染測定機器等の
国内販売と被ばく検査・食料品汚染検査業務
に関する業務提携合意のお知らせ**

日本サード・パーティ株式会社(本社:東京都品川区北品川4丁目7番35号、代表取締役社長 森 和昭、通称 JTP)は、このたび、Scientific and Production Enterprise ATOMTEX.(本社:ベラルーシ共和国 ミンスク、以下アトムテックス社)との間で、内部被ばく全身測定器、甲状腺被ばく測定機器、食料品汚染測定機器等の国内販売並びに、被ばく検査・食料品汚染検査業務に関して業務提携を行うことを合意したので、次の通りお知らせいたします。

1. 業務提携の理由

現在、放射線作業従事者に対しては、被ばくの測定が義務付けられており、特に、内部被ばくの恐れのある放射線業務従事者に対しては、内部被ばく検査が行われています。一方福島第一原子力発電所における放射能漏れ事故を受け、福島県では8月から全県民約200万人を対象に「県民健康管理調査」がスタートしました。中でも、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんの増加がチェルノブイリ原発事故の影響として明らかになっていることから、震災時0歳から18歳の全県民約36万人を対象に甲状腺被ばく検査(平成23年10月から平成26年3月まで)が行われる計画です。これに対して、国内の被ばく検査設備の状況は、内部被ばく測定器(ホールボディカウンタ:WBC)の保有台数は全国61箇所/106台で、原子力発電所保有分を除くと43箇所/57台(内閣府原子力被害者生活支援チーム/6月6日現在)と取りまとめられていますが、甲状腺被ばく測定器の台数は把握できていない状況にあります。今後、福島県内のみならず、県外へ非難されている対象者の方の他、乳幼児等への放射線被ばくの不安から一般の方の検査希望が増加する傾向にあります。

また、食品に関しては、牛肉中の放射線セシウムの中頭検査に対するスクリーニング方法が対応策として厚生労働省(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001kg9.html> 7月29日)より発表されました。このことにより、牛肉以外の食料品に対する検査対応への広がりが加速する可能性が大きくなりました。

これら身体に対する被ばく検査、牛肉における中頭検査という方針が出されるも、福島県の甲状腺被ばく検査が3年半かかるように検査施設と検査機器の絶対的な不足を解決する



ことが急務となっています。従って、我が国が直面する放射線に対する安全を確保する為の、身体に対する被ばく測定機器と食料品汚染測定機器の普及と同時にそれら機器による検査体制の強化・充実が求められています。

アトムテックス社の製品は、世界でも有数の放射線測定機器メーカーとして、各放射線測定機器は、チェルノブイリ原子力発電所の事故後、ベラルーシ国内のみならず EU を中心に米国をはじめとした各国の政府機関など世界71カ国にて幅広く利用されています。

当社は、過去20年にわたり海外企業の『放射線高度医療システム』などのサービス実績と経験を持ち、併せて、医療機器の品質保証のためのマネジメントシステム『ISO13485(国際標準規格)』の認証取得、『医療機器修理業・高度医療機器等販売業/賃貸業の許認可』取得、検査した顧客の検査データ等の情報管理に対する『プライバシーマーク』の認証取得とこれらの継続維持の実績を持ち、医療機関への販売は元より、これら被ばく検査等の業務を受託できる機能を活かし、国民の健康維持と安全な食品の供給に資することと、そのために重要課題である『被ばく検査・食料品汚染検査の体制構築』ため、業務提携に合意しました。

2. アトムテックス社の概要

商号 Scientific and Production Enterprise ATOMTEX

(略称.: ATOMTEX SPE)

業務内容 各種放射線測定機器メーカー

本社所在地 ベラルーシ共和国 ミンスク

当社との関係(資本関係、人的関係など) ありません。

その他 詳細は <http://www.atomtex.com/>

をご覧ください。

3. 検査業務・機器販売予定スケジュール

『製品購入予約受付』開始 : 9月20日(火)

『被ばく・食料品汚染検査予約受付』開始 : 11月 1日(火)

『被ばく検査/食料品汚染検査』開始 : 12月上旬

『製品出荷』開始

・食料品汚染測定機器 : 1月上旬

・内部被ばく測定機器 : 1月下旬

・甲状腺被ばく測定機器 : 1月下旬:

お問い合わせ電話番号、先行予約受付等詳細情報は、9月20日(火)に当社ホームページにてご案内いたします。 <http://www.jtp.co.jp>

4. 今後の見通し

本提携による当社業績への影響の見込みは軽微であります。

以上